山報
高幡不動尊

昨年末お堂外壁を塗り替えた交通安全祈願所の扁額「降魔殿」
（大師流書家　尾形雲海 書）

コロナ禍の正月

別格本山高幡山金剛寺　貫主　杉　田　純　一

この山報がみなさんのお手に届く頃には、多くの草木は芽を吹き、色とりどりの花を咲かせはじめ、また冬ごもりしていた虫たちも活発に動きだして、暖かな春を謳歌していることと思います。同様にわたしたちも、厚いコートやマフラーを脱ぎ、自由に春を楽しみたいところですが、残念なことにマスクをはずすのは、もう少し先のこととなりそうです。

今年の当山の初詣では、みなさんにはいわゆる3密を避けるための分散参拝をお願いするとともに、大護摩供を修行する不動堂では堂内での参拝を取りやめて、堂外正面からの参拝とし、お守り・ほのほうちわの授与所は五重塔地下ホールへと移動し、入場には人数制限を設けてのお授けとさせていただきました。ご信徒のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしましたが、有り難いことに大きな混乱もなく、また幸いなことに山内職員や奉仕員の中からはひとりの感染者もなく、無事に正月期間を乗り切れたこと、ここにご信徒のみなさまに感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、四季折々の諸行事を中止せざるをえなかったことは、当山にとって未曾有のできごとでありました。しかし、そのようなわたしたちの混乱をよそに、当山境内の紫陽花や彼岸花は、ただ時節を知って見事に咲き誇り、もみじもまた鮮やかに紅く色づいていました。お不動さまもまた、常にわたしたちの安寧を見守らんとのお誓いのままに、ただただ高幡の地に鎮座され、ご信徒のみなさまもお護摩の修行中は微動だにせず、一心にお祈りされておりました。まさにこれらは、〈いま為すべきことを為すだけということを体現している姿なのだ〉と思い至ったとき、わたしは心に畏敬の念が生じたのを覚えたのでした。

合　掌

お不動さまの心―（一一二）
現代の世相から(72)

廣澤隆之

幼い頃に一人で遊ばなければならないとき、地面を這っている蟻を見つめていろいろなことに思いを馳せたことを、最近はしきりに思い出しています。とりわけコロナ禍のさまざまな情報に接すると、その情報に得も言えぬ違和感を覚えつつ、蟻を見つめた幼少の頃の思い出が頭をかすめます。

幼い頃の私は蟻を見つめている自分が蟻にはどのように見えているのだろうかと気になっていました。おそらく蟻にとって私は天空を覆い尽くす巨大なものに見えているだろうと思いつつ、大空の遙か彼方から巨大なものが巨大であるはずの私を塵やほこりよりも小さなものと見ているのではないかと想像していました。蟻を見つめる私をさらに上から見つめる天空の彼方からの視線を感じていました。その感覚は年老いた私の中でも消え去ることはありません。

私たちは自分を中心に世界を眺めて、蟻は小さく象や鯨は大きいと思っています。しかし想像力で視点を変え、微生物から見れば蟻は巨大で、地球全体を眺める視点では象や鯨は微生物以下の小さな生物でしょう。あの小さな蟻の中に入った微生物は蟻の体内で巨大な宇宙空間を見ているのではないでしょうか。そして巨大な宇宙空間の中では私たちは極小の生物なのでしょう。

すでに五十年以上も前に制作されたアメリカのSF映画「ミクロの決死圏」は人間の体内にミクロ化された潜航艇に乗り込む軍隊が派遣され、脳内の傷害を治療する戦いをするというあらすじでした。白血球に襲われたりしながら必死に戦い、最後は危機一髪で視神経に沿って涙腺にたどり、涙の流れにのって体外に脱出して一件落着するというSF物語でした。

ミクロの微生物の中で最も小さいのはウイルスです。さまざまなウイルスが生き延びるために必死になって宿主となる巨大な生物の体内に入り込みます。人類の歴史にはウイルスが共存していました。最近の研究では精子が自分とは異なる卵子という細胞に入り込むメカニズムはウイルスが細胞に進入するメカニズムの遺伝子を精子がコピーして成立したとのことです。そう考えると哺乳類の誕生にはウイルスがすでに影響を与えていたことになります。

ウイルスやさまざまな微生物が私という巨大な宇宙空間の中でさまざまに生命活動を続けていると思うと生命の不思議を感じます。新型コロナウイルスも何らかのきっかけで人間の体内に入り込み、生命維持のため必死になっているのでしょう。その活発な活動が人間に深刻な病気の原因となり、死へと追いやることに世界中が必死になって向かい合っています。私たちの生活も変化を余儀なくされています。そのために不安や不満が積もり積もってしまいました。これほどに人類を脅かすウイルスは悪魔の如くに思われます。テレビなどでこのウイルスの電子顕微鏡写真が映し出されますが、それはおどろおどろしく、そしてまがまがしく見えるように加工されており、視聴者に一定のイメージを植えつけているように思えます。

虚空蔵菩薩　北　典生 作

さて、地球を見渡せる天空に視点を移してみましょう。すると地球の表面でさまざまな動物や植物の生命活動が見られます。しかしその自然のままの生命活動の環境を微生物のような人間が浸食し、多くの生物種を絶滅に追いやってきました。そして全生物の生命活動に必要な酸素供給の大事な森林さえ人間が勝手に浸食し、地下に埋まった化石燃料を掘り起こして燃やし人間の活動にのみ必要なエネルギーを生み出し、大量の二酸化炭素を放出し続けています。そのために南極のペンギンも、北極のシロクマも、海中のサンゴも魚も生存の危機に瀕しています。天空の眼差しでは人間という微生物の勝手な生命活動が地球上の全生物の生存のために危険なのです。

しかしもう一度人間の眼差しに戻れば、今の生活を維持するためには他の動植物に犠牲を強いることは仕方ないことなのでしょう。しかし犠牲を減らすために努力もしないで、今の生活を守ろうとするのは人間のわがままなのでしょう。

私たちは他の生物に生存を脅かされると、それを敵と見なして懸命に戦います。しかしそのようにして生きている私たちが多くの生物の生存を脅かしていることも事実です。

生きるためには仕方ないとしても、このように他の生命を脅かす生命活動の巨大なネットワークが無限な宇宙空間に広まっていると考えた方がよいでしょう。そしてその生命活動の全体を見ることができない私たちは生きるために祈るしかないでしょう。しかし生きるということは気づかずに他の生物を脅かすことでもあります。それゆえ、気づかない自分の愚かさを謙虚に自覚し、全生物の生命活動の前で懺悔することも大事でしょう。懺悔と祈りを通じて生命活動が維持されるでしょう。この生命活動全体を私たちは大日如来と受けとめます。その大日如来から迷い続ける私たちを救うためにお不動さまが現れ出ます。生き続けるために、懺悔と祈りは仏さまの前で意義ふかいものとなるのです。

廣澤隆之先生のプロフィール
●大正大学名誉教授
●浄福寺住職

自然豊かな高幡不動尊の春をお楽しみ下さい

3〜5月頃咲く主な花を紹介致します

サンシュユ

ウグイスカグラ

カタクリ

ショカッサイ

3月頃　山茱萸・梅（約30株）・三椏・寒菅・椿(200株)・黒文字・菊咲一華・辛夷(20株)・櫱・桜（河津桜・江戸彼岸桜・染井吉野・八重桜等 300株）・諸葛菜・土佐水木・十二単・令法・木五倍子・かたくり・猩々ばかま・春蘭・菫（各種）

4月頃　木瓜・馬酔木・山吹・山藤・藤・三角草・木蓮・連翹・二輪草・熊谷草・稚児百合・宝鐸草・黒花蝋梅・水芭蕉・クリスマスローズ・いかり草

5月頃　泰山木・立浪草・石楠花・定家かずら・花水木・菖蒲・小手毬・大手毬・芍薬・二人静・著莪(群生)・栴檀

（このほか山内には自生の野草がたくさん見られます）

ミスミソウ

シラユキゲシ

ヤエヤマブキ

シャガ

タツナミソウ

シロバナジュウニヒトエ

フタリシズカ

ショウブ

高幡不動尊 フォトニュース

お釈迦様への報恩謝徳（常楽会）　2/15

お堂の中で「福はうち～！」節分会　2/2

「追善供養の大切さ」常楽会ご法話
正楽院　佐藤亮雅先生

だるま市の中を～節分会　2/2

令和3年のスタートは人出が少なめでした　1/1

除夜の鐘は関係者のみにて　1/1

冬至星供養　12/21

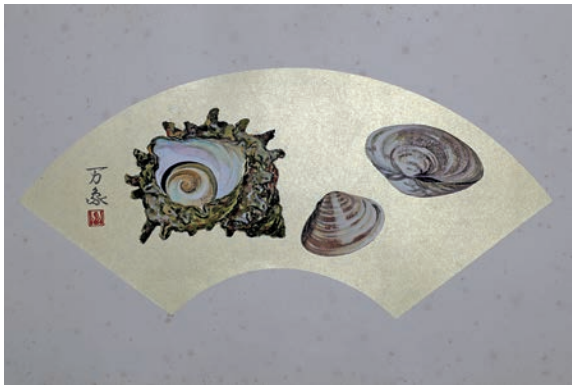
雪の初不動・だるま市　1/28

遍照講の皆様のご奉仕で福銭作り　1/13

日社協への募金を大坪市長に　12/25

降魔殿修復完了法楽　12/5

感染予防のためお守りは五重塔地下ホールで授与　1/1



羽根万象筆「四季」（夏）

「四季」（秋）

御礼

本年の初詣におきましては、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用、分散参拝、郵送によるお護摩札の受取り等ご協力を賜わり誠に有難く厚く御礼申しあげます。

また、不動堂でのお護摩修行では、極寒の中、堂前にてのご参拝等、大変ご不便、ご迷惑をおかけしましたこと何卒ご海容のほどお願い致します。

おかげさまをもちまして混乱もなく、粛々と新春を迎えることができました。

皆様方におかれましては不動明王様の御加護をいただき、一日も早く平穏な日常が訪れますようご祈念しております。

合掌

ご奉納御礼

一、品名　羽根万象筆「四季」（扇面絵）
奉納者　日野市　平　清

（五・六頁写真参照）

「四季」（春）

羽根万象筆「四季」（冬）

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
（敬称をすべて省略させていただきます）

境内整備緑化資金寄進者芳名
（令和二年十一月一日～令和三年一月三十一日）

日野市　遠藤和子
日野市　伊東靖雄
稲城市　寺尾公平
彦根市　西澤政男
（三回）

幟旗奉納者芳名
（令和二年十一月一日～令和三年一月三十一日）

世田谷区　山中雅晶
世田谷区　山中晴湖
目黒区　鵜ノ澤弘充・かなえ
中野区　山本民子
三本　調布市　高橋佐和子
清瀬市　沖山順子
多摩市　坂口恵子
二本　日野市　岩文夫
日野市　加藤栄子
八王子市　久島孝行
町田市　角谷政則
二本　中央市　佐野千尋

千体地蔵尊奉安者芳名
（令和二年十一月一日～令和三年一月三十一日）

二体　横浜市　松井康成

大提灯奉納者芳名
（令和二年十一月一日～令和三年一月三十一日）

多摩市　勝又鉄筋工業株式会社
立川市　金子方惠
日野市　長屋昭宏
日野市　土方和
上野原市　有限会社肉のまるも

一、品名　マスク（手作り）
奉納者　国立市　佐藤ふじ子

募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚　ユニセフ関係募金（○印）は合計一、三六五万円になっております。

各　種　募　金　総　計　表（令和3年2月8日現在）

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(14回)	6,200,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大水害救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(22回)	6,600,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
西日本豪雨災害義援金	(1回)	1,000,000円也
令和元年台風15号・19号災害義援金	(1回)	1,000,000円也
総　　計	(118回)	95,847,319円也

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡りを実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき年ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合わせてご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

一、巡　拝　毎月第一週の火・木・日曜日
（五月は第二週）

一、会　費　四九、六〇〇円（七回分）
分割納入も可
（納経料・バス代・保険料等を含む）

一、昼　食　各自持参

※詳しくは、高幡山事務局内龍華会まで
電話　〇四二―五九一―〇〇三二

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、延期・中止させていただく事があります。

春の行事案内

◇三月……

○14日（日）フリーマーケット

○20日（祝）春分の日　彼岸会法要〈午前七時〉大日堂

○21日（日）弘法大師正御影供　〈午前七時〉大日堂

ござれ市（がらくた市）〈雨天決行〉

月例写経会〈午後一時三十分〉法話　山内僧侶

千体地蔵尊月例法要〈午後二時〉法話　山内僧侶

○24日（水）

○28日（日）月例祭（ご縁日）

◇四月……

○8日（木）花まつり（灌仏会）〈午前十一時〉

尚、甘茶接待は四月三日（土）～八日（木）まで行います。

○11日（日）フリーマーケット

○18日（日）ござれ市（がらくた市）〈雨天決行〉

○27日（火）～29日（祝）春季大祭国宝まつり（詳細は左頁参照）

◇五月……

○8日（土）・9日（日）第二十四回ひの新選組まつり

○9日（日）フリーマーケット

○16日（日）ござれ市（がらくた市）〈雨天決行〉

○21日（金）月例写経会〈午後一時三十分〉法話　山内僧侶

○24日（月）千体地蔵尊月例法要〈午後二時〉法話　山内僧侶

○28日（金）五月大祭

記念講演　午後二時―聴講無料―

（詳細は十三頁参照）

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならい誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要（灌仏会）が行われます。

甘茶接待　四月三日（土）～四月八日（木）

花まつり法要　四月八日（木）

第二十四回　ひの新選組まつり　開催内容の変更について

全国的に新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策が必要な状況が続いております。

ひの新選組まつりでは、例年二月から隊士パレード参加者の募集を開始しているところですが、昨今のコロナ禍でも実施可能な事業をひの新選組まつり実行委員会で検討した結果、隊士パレードは行わないことといたしました。

内容につきましては「広報ひの」でお知らせする予定です。

〈問い合わせ先〉

ひの新選組まつり実行委員会事務局

シティセールス推進課

電話　〇四二―五一四―八四六一

あけそむる
藍毘尼園に
生れましし
卯月八日を
たたえまつらん

「釈迦牟尼如来誕生御詠歌」

春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日（火）
大写経会……午前九時三十分（客殿）
写経奉納大護摩修行……午前十一時三十分（不動堂）

○四月二十八日（水）
世界平和祈願大護摩法要……午後一時（不動堂）
特別祈祷御守授与

○四月二十九日（祝）昭和の日
千体地蔵尊総回向法要
午前の部……午前十時（千体地蔵堂）
午後の部……午後一時（千体地蔵堂）

国宝まつり期間中 開催をとり止める行事

新型コロナウイルス感染症拡大の為
例年開催されている左記の行事を中止と致します

- 大写経会記念法話
- 奉納演芸
- 奉納神輿練り
- 稚児練供養
- 峯岸純夫先生記念講演
- 五重塔仏伝彫刻拝観

疫病退散大護摩供毎座勤修

新型コロナウイルス感染症に罹患（りかん）された方々の快復と一刻も早い終息を祈念しております。

大写経会のお知らせ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日　時　四月二十七日（火）
　写　経
　午前九時三十分
　写経奉納大護摩修行
　午前十一時三十分
一、会　場　高幡不動尊客殿
一、会　費　金二、〇〇〇円也（含写経奉納金、記念品）
○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで
　電話　〇四二―五九一―〇〇三二番（代）

千体地蔵尊総回向法要

左記によって千体地蔵尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日　時　四月二十九日（木）昭和の日
　午前の部　十時から
　午後の部　一時から
一、会　場　塔院千体地蔵堂
一、冥加料　金二、〇〇〇円也（但、お札料）
◎ご回向の塔婆をご希望の方は別に三、〇〇〇円（一体）を添えてお申し込み下さい。

山内消息

煤払い

年の瀬が迫る十二月十一日毎年恒例の煤払いが執り行われました。今年は新型コロナウイルスの影響で山内の行事が中止や縮小になるものもありましたが、煤払いは例年通り行われ、不動堂を中心に各お堂に分かれ、一心に一年の煤を払いました。

この煤払いを終えることで迎春の準備がはじまります。

（佐竹智記）

煤を払って新しい年を迎えます

AED・応急救護訓練（12/14）

日野消防署隊員の皆様の御指導により、応急救護訓練を実施しました。大勢の方がお参りされる年末年始を前に毎年行われていますが、コロナ禍では要救護者への接し方、処置対応においても感染症対策を取った上で行わなければならず、緊急時にもコロナが大きく影響していると感じました。

（柳原記）

星まつり（12/21）

冬至恒例の星まつり法要が午後五時より不動堂において勤修されました。

全国各地より申し込まれた星供札を大護摩にてお加持し来年の開運・厄除を御祈願しました。今年は新型コロナウイルス感染予防の為、お堂への入堂、冬至うどんの接待は取り止めとし、お札は全て郵送させていただきました。

来年は皆様方とご一緒に、お祈りできることを願っております。

（丸山幸記）

お猿の初詣

一月四日・五日とお猿さんが境内に姿を見せました。

現れたのは墓地と寺務局前で、寺務局の屋上まで登り、その後姿を見ることはありませんでした。ここ数十年境内にお猿さんが現れたことはなく、地元警察に問い合わせたところ、日野市内でポツポツと目撃情報が寄せられたそうで、八王子の奥からやって来たのではないかということです。お猿さんも初詣に来山したのでしょうか。

成人の日（1/11）

今年の成人式は各地で縮小や中止、リモート開催等の影響なのか、晴着姿のお参りが例年より多く感じられました。

新しく成人を迎えた皆様の感想をご紹介いたします。

二十歳の誓い…

井上　斗凱

二十歳の抱負は自分の行動により責任を持つことです。二十歳という節目の年になり大人という入口に一歩踏み込むことになったので、大人という自覚を持ち、何をするにしても、やり抜く責任を持っていきたいと思います。

榎本　美帆

今年は、新型コロナウイルスの影響で、成人式がオンラインのみの開催になりました。成人式の前と後で何か変ったかというと特に意識の変化はありません。大人になったという自覚もありません。ただ少しさみしいような焦るような気持ちが芽生えたかもしれません。誕生日などの節目を迎えると、私は嬉しさとさみしさを同時に感じてとても不思議な気持ちになります。あとどの位生きることになるのか分からないけれど、生きている間は出来るだけ好きなことをして楽しく生きたいなぁと思います。そして自分の周りの人も楽しく生きてほしいと思います。周囲の人に感謝して「自分にとってのいい人生」を歩む大人になりたいです。

牛王宝印印可（ごおうほういんいんが）

一月十五日、年に一度の牛王宝印のお授けがありました。

牛王宝印とは、重要文化財の丈六不動明王様と同じ材で作られ、この印を授かると身体安全・無病息災・健康長寿のご利益があると古くから伝えられ、不動堂のお護摩の際に授けられておりますが、今年は密集を避け、重文のお不動様が安置されている奥殿の前にて、午前十一時・午後二時の二度お授けがありました。

無病息災を願ってお不動様の宝印をお授け

疫病の拡大が心配される中、お不動様のご利益を少しでもいただこうと平日にも関わらず長い列が続いておりました。

文化財防火デー

消防演習

一月二十六日晴天の下「消防訓練開始！」の掛け声が響き渡った。この演習は昭和二十四年一月二十六日に奈良の法隆寺金堂壁画が焼損した事に基づき始められた文化財防火デーの一環で、当山にとって大事な行事の一つです。

開始の合図と共に非常ベルが鳴り五重塔から出火した想定で訓練開始。隊長の指示に従い高幡不動尊自衛消防隊による初期消火、そしてサイレンが鳴り響き日野消防署、日野市消防団第七分団が到着し迅速な行動で五重塔へ一斉放水。今年はコロナ禍という事もあり地元三商店会、境内出店業者、ボランティアの参加を控えていただき規模を縮小しての開催でしたが、演習に参加して一層大切な文化財を火災から守る意識が高まりました。（宮原記）

豆煎式

一月三十一日、節分の福豆を煎る豆煎式が執り行われました。

例年であれば日野わかくさ幼稚園の園児達も参加し、とても賑わいを見せる行事ですが、緊急事態宣言下の為、本年は僧侶のみで執り行い、参拝者の皆様と開運招福、疫病退散の祈りを福豆に込めました。（森口記）

国産100%の福豆です

節分会

二月二日、恒例の節分会法要が午前十時、十一時、午後一時、三時、四時の五回開催されました。本年はコロナ禍において感染症予防を万全にし、宝輪閣二階舞台からの豆撒きを取り止め、年男の募集も各回五十名の限定としました。

年男のお練りでは、今回特別に用意した福豆入の小袋を参道でお待ちの方々に手渡し、福を配ってのお練りでした。

本年、記念回の年男参加者をご紹介いたします。（敬称略）

第六十回
○多田　充伸
第五十回
○山口　豊
第四十回
○長井　守　○水野　功
第三十回
○生沼　通男　○小林　昭治
第二十回
○永重　紀典
第十回
○武井　素文　○土方　三男
○青木　寛司　○秋山　和夫
○荻澤　茂　○木村　三浩
○小島　康子　○宍戸　啓昭
○高城　幹夫　○宮﨑　昌久
○渡辺　惠子

一斉放水演習

お手伝い

今年も年末年始から節分会に至るまで八十名程の学生さんを中心とする皆さんにお手伝いをいただきました。

お手伝いの感想をいただきましたのでご紹介します。

お護摩受付　向井　優果

年末年始のお勤めお疲れ様でした。不慣れなことが多かったですが、お寺での経験がとても新鮮で楽しかったです。寝正月になるのではなく、粛々とした気持ちで一年のスタートを切ることができ、良い年になりそうです。学生生活の最後に貴重な機会をいただけたこと、本当にありがとうございました。

まだまだコロナの心配も続きますが、皆様どうぞご自愛ください。今度はお護摩を申し込む側で参ります！

お護摩受付　工藤　美冬

宝輪閣のお護摩受付で年末年始の八日間という短い期間ではありましたが、普段の生活ではあまり触れる機会のないことを学びました。

受付ではご信者様の大切な御札に入るお名前、年齢に間違いがないよう注意して仕事を行いました。初めは細かな漢字の違い、お願い事の意味

自衛消防隊の初期消火

や事務的な流れなどを覚える事に苦労しましたが、周りの方々の助けもあり乗り越えることができました。そして御札に名前を書く先生や御札を受け取るご信者様にご迷惑をおかけしないようにと考えることで、より一層の責任を持つことができました。

とても楽しく、やりがいのある時間を過ごすことができました。一緒に働いて下さった方々にとても感謝しています。

お札渡し　相樂　花奈

お札渡しのアルバイト二年目となります。

今年は昨年と異なる日々でしたが、お坊さんや職員の方に助けられ、参拝者様にも優しく丁寧に接していただき、多くの方の笑顔を拝見した気持ちの良い年始となりました。私にとって高幡不動尊は、忙しさもありながら、心を癒し落着ける居心地の良い場所です。

春からは社会人になりますので、参拝者としてまた伺わせて頂きます。

急場に備えて応急訓練

お札渡し　橋本　一希

大晦日から高幡不動尊でアルバイトとして働き、他では得られない数々の貴重な体験をすることができました。お坊さんが実際に働いている姿を間近に見るのは初めてで、お寺という場所に対して今までよりずっと親近感を持つようになりました。参拝にいらっしゃる方々は単なる「お客様」ではなく、皆それぞれの想いを持ってお寺にお祈りに来ているのだと、札渡しの仕事を通じて感じる日々でした。どの体験も、この高幡不動尊でしか味わうことのできない人の温かさに触れるものでした。何気ない気持ちで応募したアルバイトでしたが、今後の人生にとって価値あるかけがえのない時期を過ごすことができました。今はこの仕事が終ってしまうことを寂しく思いますが、いつかまた高幡不動尊を訪れる日を楽しみにしています。

句碑のお披露目　除幕式

交通安全祈願所　安田　真緒

毎年、年の瀬に高幡不動尊に来ると、初めてここで働いた日を思い出します。深夜にわたる上、速さと正確性が必要な業務ということで、時にはつらいこともありました。もっとも、指導してくださるお坊さん方や先輩の優しさに支えられ、乗り越えることができました。あまり出会う機会のないお寺の仕事を一部でも任せていただけることは、新鮮かつ貴重な経験であると感じています。祈願所にてお札を作成する際には、毎回身の引き締まる思いがします。

今年は、新型コロナウイルスの影響が懸念される年でしたが、かかる大変な状況下でもご祈願にいらして下さったことに感謝するとともに、いちアルバイトとしてお役に立てたのであれば嬉しく思います。

嵯峨野創立五十周年記念
阪田名誉主宰句碑建立式

一月十六日、嵯峨野創立五十周年記念事業として阪田昭風名誉主宰の句碑建立式が執り行われました。当日は春の暖かさを思わせる穏やかな好天に恵まれ、十時より会員の安全を祈る大護摩供をご修行し、句碑会場（山内八十八ヶ所第三番左手先）に移動しました。

会場では中山仙命句碑建立委員長の進行により開式され句碑の除幕、法楽、花束贈呈、才野洋主宰の代表者挨拶、貫主挨拶、阪田昭風名誉主宰の御礼の言葉、梅原清次俳句大会実行委員長から句碑建立に携った浜中石材店に花束の贈呈、最後に中島勝彦同人会長による閉式の辞にて式が結ばれました。

才野主宰からは「阪田先生のこれまでの人生、嵯峨野句会への思いのこもった句で、師である村沢夏風先生の句碑の隣りで、同じ石の材、大きさも形もまるで対の様である」と喜びの挨拶がありました。

名誉主宰を囲んで

二〇二〇年度「嵯峨野」俳句大会実行委員長梅原清次様から句碑建立の記を寄せられましたので抜粋してご紹介いたします。

顧みて
住きことばかり
実千両
昭風

このお句を初めて目にしたのは何年か前、高幡不動尊萬燈会にあたり先生から献詠句をお預かりした時であった。

実に安らかな句と感じ、その後も忘れられない句となっていた。行燈に仕立てられ十一月二十二日、二十三日の萬燈会の両夜、山内に明るく灯されたのは言うまでもない。場所も参道に沿った奥殿の赤い欄の下、実千両の辺であった。川澄祐勝御前様のお元気な頃で、ご貫主の御配意であることは明らかであった。

その句が今般句碑となって開眼を迎えようとしている。うれしい限りである。再び消えることのない明るい光源として嵯峨野の行く手を照らすことになるのである。

句碑は夏風先生の句碑と同質の根府川石、施工も同様に立川の浜中石材店である。根府川石は箱根火山から小田原市根府川に流出した溶岩なのでこの名がある。板状の節理がよく発達し、そのなめらかな節理を利用して石碑として関東では尊ばれている。

（中略）

句碑の高さは地盤の関係で夏風先生の句碑と比べ少し高めであるが、句碑の前に立ち正対すれば自然な視線の先に句碑が立ち現れる。一年を経ずして句碑は高幡不動尊のお山の景に溶け込み、訪れる人は一句より四季折々の安らぎを授かることになろう。

お花講講員の募集

～献花のおすすめ～

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会（九月二十八日）に御招待（法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待）致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名　称　高幡山お花講
一、会　費　一ヶ月　五〇〇円
※入講は随時承っております。
ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

五月大祭記念法話

・日　時　五月二十八日（金）午後二時から
・会　場　五重塔塔院大ホール（聴講無料）
・講　師　真言宗智山派　教化センター長
　江東区　香華院御住職
　鈴木芳謙先生
・演　題　「生きる力」

山主の主な動静

12/4まちおこし連絡協議会・12/6日本きもの装いコンテスト関東大会（昭島）・12/7高尾山薬王院佐藤秀仁御貫首入山式（随喜）・12/8高尾山薬王院御貫首御礼御来山・12/9ジェイコム新年挨拶CM撮影・12/11煤払い・12/12総代世話人会・12/21星まつり法要・12/28納め不動・1/1～1/3新年大護摩修行・1/16嵯峨野句会創立五十周年記念阪田昭風名誉主宰句碑建立式（大導師）・1/26文化財防火演習・1/28初不動大祭・1/31豆煎式・2/2節分会・2/9新選組まつり実行委員会・2/10観光協会正副理事会・2/15常楽会・2/17ふるさと歴史館書道展審査

御護摩札郵送のご案内

大護摩札	中護摩札	護摩札	護摩札	懐中札	交通安全祈願札
30,000円以上	10,000円	5,000円	3,000円	3,000円	3,000円
送料 800円	送料 800円	送料 600円	送料 400円	送料 300円	送料 300円
長さ 58cm	長さ 52cm	長さ 45cm	長さ 37cm	長さ 11cm	長さ 15.5cm

当山では御護摩札の郵送による授与も受け付けております。
郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はＦＡＸでお申し込み下さい。
御札が届きましたら、同封の払込取扱票（郵便局）にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡７３３番地

高幡不動尊　護摩札郵送係

電話　０４２－５９１－００３２　　ＦＡＸ　０４２－５９３－３０３８

※電話、メール、インターネット等でのお申し込みは受付しておりません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります。

「在宅写経」のおすすめ

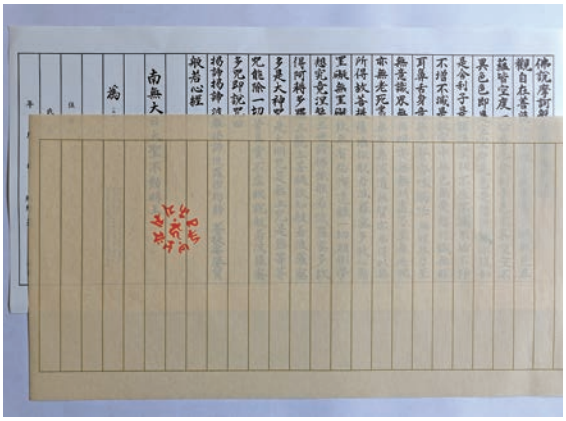
高幡不動尊では檀信徒の皆さまにご自宅で出来る写経用紙をご用意しております。時節柄、ご自宅にいる機会が多い時に、ご自身の修養の為に写経を始められる事をおすすめします。

写経用紙　　一巻　二、〇〇〇円（送料　三〇〇円）

写経用紙を郵送でご希望の方は、電話又はファックスで高幡不動尊事務局までご連絡下さい。写経用紙と一緒に払込取扱票を同封しますので、郵便振込でお支払い下さい。振込手数料は無料です。（複数巻ご希望の方は電話にてご連絡下さい）

電　　話　〇四二（五九一）〇〇三二

ファックス　〇四二（五九三）三〇三八



※ファックスでお申し込みの方は、当山のホームページから申込書を印刷してご利用下さい。

※書き終わりました写経用紙は、当山にご返送下さい。写経用紙は当山のご本尊・不動明王様の御宝前にご奉納させていただきます。

高幡いきもの曼荼羅 ⑭

今年の冬は殊の外雨が少なく、フキノトウはようやく二月になって発芽し、例年アカガエルが産卵する水場も長い間干上がった状態でした。冬に来る鳥ではアオジの姿をすっかり見掛けなくなりました。

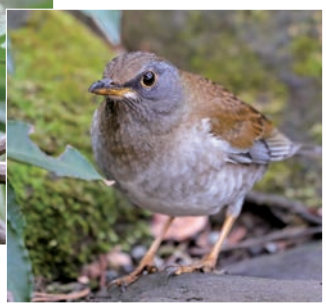
アオジは平素、境内の中でも比較的人に近い、裏山との境界付近に生息していて、地面で植物の実や小さな虫をついばんでいます。少雨のほかに見掛けない要因として考えられるのは、コロナウイルス感染対策で、例年に比べ境内に人が少なかったことでしょうか。人も動物も意識せずにいろんな物を持ち込んで、環境に作用します。もしかすると高幡不動尊の生態系は人の出入りによっても保たれているのかも知れません。

高幡不動尊の境内はいろんな「言葉」であふれています。人の声、鳥の声、虫の声に限らず、風鐸を鳴らす風の音や雨の滴る音など。それは地球が生きているからこそ発せられる「言葉」であり、生態系や食物連鎖を超えた命の営みなのです。

賑いのある境内が戻ってくることを願って。山川草木悉有仏性。

飛び立つハイタカ（愛宕山にて）

紫陽花にとまるアオジ（昨年）


鋭い目つきのシロハラ

なにげなくつかっている仏教のことば―両足（りょうあし・りょうそく）

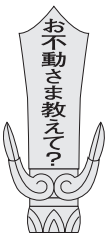
いうまでもなく両足は、わたしたちの体を支え、大地を歩くために必要な体の一部分です。

仏教で両足とは、二足で歩くもの、すなわち人間のことを意味し、中でもお釈迦さま・仏さまは最も尊い人であることから、《両足尊》《両足仙》と称しています。

また、仏さまは福徳（善行）と智慧という功徳をそれぞれ足として、この世界を遊行し、わたしたち衆生を苦しみから済うことから、《両足尊》と称すとも解釈されています。

（小林靖典）

大日堂玄関前の仏足石



ご質問　高幡不動の境内奥にある本堂に安置されている、本尊大日如来の向って左のお像については見当がつきません。そこでこれは何のお像なのか、どうかお不動さま教えてください。

（前号のつづき）

お答え

はい、お答えいたします。

前号では、ご質問にありました像は興教大師覚鑁上人（一〇九五～一一四三）の像であること、あわせて覚鑁上人の生い立ちから出家までをご紹介しました。そこで今号では、そのつづきをお話しすることに致しましょう。

修行と誓い

僧となるため京都に上った弥千歳麿は、十六歳になると仁和寺の寛助にしたがって出家し「覚鑁」の法名を授かり、修行にはげむとともに、南都（奈良）の諸大寺に赴いて広く諸宗の教理を学びました。

二十歳になった覚鑁上人は仏と成ることを目指して高野山に登り、弘法大師空海が修した虚空蔵求聞持法を数度にわたって行じました。このとき覚鑁は修行が成就することを願って、《すべての経を書写すること》《真言密教の教えを学ぶための道場を高野山上に建立すること（大伝法院の建立）》《真言密教の教えを弘く伝えていくこと（伝法会の再興）》などの誓願を立てられました。そして二十九歳のとき、ついに悉地（行を完成させて奇瑞を示すこと）を得たと伝えられています。

高野山伝法会の復興

さきに覚鑁が立てられた誓願は、やがて鳥羽上皇の耳にまで届くこととなり、覚鑁は上皇をはじめとする多くの外護者を得て《伝法堂》を建立し、高野山で長らく途絶えていた真言密教の教えを修学する法会である《伝法会》を再興し、さらに三十八歳のときには、《大伝法院》と《密厳院》の落慶供養が上皇の臨幸を仰いで盛大に行われました。

根来の地への移住

覚鑁が四十歳のとき、鳥羽上皇の院宣により高野山金剛峯寺の座主に補任されましたが、旧来勢力の強い反発を招くこととなり、やむなく覚鑁は座主職を辞しました。覚鑁は旧来勢力との対立がやむことを願い、密厳院に籠もり、四年間にわたる無言の行を修されました。しかし覚鑁を慕う勢力と旧来勢力との対立は深まるばかりで、意を決した覚鑁は大伝法院の衆徒とともに、根来の地（現、和歌山県岩出市）へと移住したのでした。覚鑁、四十六歳のときのことでした。

（次号につづく）

皆様からのお便り

昨年、都立南多摩中等教育学校の生徒さんが来山され、御礼のお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。

拝啓　向寒のころとなりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。私たちは変わらず元気に過ごしています。

さて、先日は地域調査の取材にご協力いただきありがとうございました。高幡不動尊の美しい建造物や仏像・展示品等の説明、とても参考になりました。一つ一つ丁ねいに説明してくださったお心づかいにとても感謝いたします。これからさらに探求活動を進めていきたいと思います。

最後になりますが、これから寒さがきびしくなりますのでお体にお気をつけてください。

敬具

十一月十三日

高幡不動尊様

都立南多摩中等教育学校
一年D組一班

拝啓　向寒の頃となりましたが、いかがお過ごしですか。

先日は、お忙しい中、時間を割いてくださり、ありがとうございました。土方歳三の話、不動明王様の話など、短い時間となってしまいましたが、興味深い話を聴くことができました。更に本来撮影禁止の奥殿や大日堂を撮らせて頂いたことについても、ありがたく思います。また、個人的に般若心経の練習をさせて頂いています。成果発表会も含め、これからも見聞を広げるため努力していきたいと思います。

寒さが厳しくなりますのでお体に気をつけて下さい。

敬具

十一月二十日

高幡不動尊様

都立南多摩中等教育学校
一年D組一班

お護摩札郵送係御中

町田市　戸島

前略

本日、節分の御護摩札を送って頂きありがとうございました。

お札は早速替えさせて頂き本年の家内安全をお祈りさせて頂きました。感謝です。八十才の私は昭和五十年から令和二年まで月参りを続けてこられましたが、急に新型コロナウイルスの異状な状態に驚いています。一日でも早く普通にお参り出来る平常な日になることを願ってます。今回はお世話になり、ありがとうございました。お礼まで

「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致しました。

令和五年には弘法大師御生誕一二五〇年を迎えますのでお大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしょうか。

一部　一、〇〇〇円

※ご希望の方には郵送致します。（送料三〇〇円）

電話〇四二一五九一一〇〇三一
龍華会まで

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料　金三、〇〇〇円也

御護摩修行

○平日　八時・十時・十一時半・一時・三時
○土曜・日曜・祝日　八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時
○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半
○ご縁日（二十八日）五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
○御護摩料　金三、〇〇〇円也
金五、〇〇〇円也
金一〇、〇〇〇円也
（大護摩）金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日＝毎月二十八日
境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット（リサイクル市）
毎月第二日曜日（雨天中止）

ござれ市（がらくた市）
毎月第三日曜日（雨天決行）

お焚き上げ
毎月十五日午前九時

月例写経会
毎月二十一日午後一時半

千体地蔵尊月例法要
毎月二十四日午後二時

奥殿拝観（月曜休館）
午前九時～午後四時
拝観料　三〇〇円

大日堂　鳴り龍・襖絵拝観
午前九時～午後四時
参拝料　二〇〇円
（月曜休館）

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

新型コロナウイルス対策をしての諸行事も恙なく終わり感謝申し上げます。

諸行事報告と春季行事案内を中心に掲載しました。

今冬も当地域では雨雪が少なく境内の植物が枯れてしまうような状況でしたが春を感じさせる頃となり段々と芽吹き始めてきました。

山内も引き続きウイルス対策を取り乍ら務めてまいりますので宜しくお願いいたします。

発行所
〒191-0031
東京都日野市高幡733
別格本山
高幡山金剛寺
電話（042）591-0032㈹
FAX（042）593-3038
発行人
編集人　黒川高徳
年4回発行・再生紙使用